



Complete Psionic (未訳)

By Keith Baker

Eberron Expandedにお帰りなさい。この文書のシリーズは、主としてエベロン・ワールドガイドに対応せずにデザインされたソースブックを対象としています。これらの文書に書かれているアイディアは指針であることを心に留めておいてください。DMとして、君はゲームに何を加え、それが君にとって世界にどのように適合するようにするのかは君の最終判断に委ねられています。

Complete Psionic (未訳) は、プレイヤーとDMに特技、装備、種族、モンスター、基本と上級クラスの両方について、たくさんの新しい選択を提供します。エベロン・ワールドガイドにこれらを取り入れる方法を調べていきましょう。世界に於けるサイオニックの役割についての追加情報を得るために、エベロンのDragonshardを参照してください。

Talaronの亡命者

Complete Psionic (未訳) は、歴史をTalaronの落ちた世界にまで遡ることができるふたつの力、隠された家 (The Hidden House) とダイヤモンドの騎士のギルド (The guild of Diamond Knights) を導入します。ゲーム中でこれらの組織を取り入れることを考えるDMは、Talaronの性質について決めなければいけません。エベロン・ワールドガイドでは、ゾリアットとダル・クォールが技を使って世界の破壊がある種の芸術であると考えていると書かれています… 彼らはかつて世界を破壊したことを意味する説明です。それによって、可能性のひとつとして、Talaronの亡命者が狂気の王国によって粉碎された世界の最後の生存者であるということが考えられます。この道を選べば、ダイヤモンドの騎士は地下竜教団と門を護る者の自然の同盟者の定命の敵となるでしょう。

もうひとつの可能性は、Talaronが世界ではなく… Rhiavhaarのサローナ王国の巨大都市であったというものです。Talaronの貴族の氏族

は、サイオニックのパワーと鮮やかな夢によって知られていました。ある時代、これらのサイオニック能力は彼らの社会に於いて、彼らの影響力を維持するのに役立ちましたが、ドリーミング・ダークがその目をサローナに向けたとき、その氏族に対し権力は敵対するものになりました。多くの後継者がクォーリによる支配を受けやすいことが分かり、彼らがエベロンでのクォーリのエージェントの最初の階級を作り上げ、今日ではインスパイアドと呼ばれるものになりました。ドドリーミング・ダークに抵抗できた人々は、彼らの墮落した仲間によって追い詰められ、捕えられ、他の難民と共にコーヴェアへ逃れました。これが家が隠れる理由です。彼らはまだドリーミング・ダークの迫害が迫っており、墮落した仲間を恐れています。現在、彼らはドリーミング・ダークとダル・クォールに対する秘密の戦争を繰り広げています。時折、ダイヤモンドの騎士は、カラシューターと手を組みますが、Talaronの子孫の多くはダル・クォールに触れられたものすべてを信用しません。狂信者の精神で、カラシューターはインスパイアドと同じように忌み嫌っており、隠された家はカラシューターを攻撃するのです。



DMがどちらを選択するかに関わらず、ラザー公国連合は隠された家、ダイヤモンドの騎士、Talaronからの亡命者を置くのに適切な場所です。ラザー公国連合は船乗りと海賊でよく知られていますが、ラザー海とアイアンルート山脈の内陸部に公国連合があり、この地域はしばしば5カ国の人々に見下されています。全ての公国がかつてのサローナに遡る独自の伝統と習慣を持っています。これは詮索好きな目からTalaronの隠された家にとって居やすい場所です。それぞれの家が召集する為の公国を持つことは簡単で、公子と人民は旅人から彼らのパワーを隠すでしょう。

イリシッドの遺産

エベロン・ワールドガイドで、マインド・フレイヤーは狂気の王国、ゾリアットの使者です。しかし、彼らの起源は謎のままなのでしょうか。彼らはゾリアットの申し子なのでしょうか。あるいは彼らは他の世界の歪められた生存者でしょうか。

その答に関わらず、イリシッドはゾリアットと地下竜教団の象徴的シンボルです。Complete Psionicの**イリシッドの遺産**特技は、実際にイリシッドの先祖がいる他にも多くの原因で引き起こされ得ます。

- Dyrnnによって鍛えられた古代の刃、コラプターはそれに触れる全ての存在を汚します。刃を持つ者は誰であってもゆっくりと変貌を遂げていきます。数週間の中に、キャラクターの特技は、イリシッドの遺産特技に取って代わられます。彼がこうした特技を4つ得ると、彼はかつての仲間と敵対し、身も心も本当にイリシッドになります。もし着用者がこの刃から離れることができれば、この腐敗は逆に働きますが、このアーティファクトの強大な自我は、所有者がこの宝を放棄するのを阻止します。
- ゾリアットに関連付いた顕現地域は、その地域に残る全てを腐敗させます。1世紀前にこの地域に村が築られました。今、イリシッドの遺産特技がこの村の住人に見られますが、彼らは部外者にこの特徴を隠しています。冒険者がこの地下竜教団の隠れ家に突入すると何が起こるでしょう。もし冒険者のひとりがこの村で生まれたのなら、彼女の血統の中に腐敗を見出すことができるでしょうか。
- ダーグーンの伝説にはKech Uulが伝えられています。記録によれば、デルキールとの戦いでダカーンの一族は完全に絶滅したと伝えられています。しかし、僅かな者はKech Uulは破壊されなかった… どちらかといえば、彼らは恥を見せる代わりに影に隠れて戦うことを選んだ、恐怖に感染させられた者達なのです。Kech Uulがまだ存在するのなら、これらのイリシッドとなったゴブリン種はゾリアットのカと戦うでしょうか。あるいは恐怖の力に屈し、同族と戦うでしょうか。
- 地下竜教団に献身的に仕える全てのクレリック、アデプト、フェイバード・ソウルは、簡単にイリシッドの遺産特技を発展させることができます。彼の信仰の力の恐ろしい証として。



シナッド (Synad) と 宿主特技

シナッド種族はエベロンのカラシュターと多くの共通性を持っています。共に他の次元界に期限を持っており、共に恐怖に溢れた王国です。両種族が彼らの**拡張された精神**、シナッドの3つからなる精神、カラシュターのクォーリと人間の統合されたもの、から成り立っています。

ふたつの種族の間にはこのような重複があり、DMはこれらの種族をひとつに纏めたいと思うでしょう。もしDMがカラシュターの筋書きを好むものの、種族特徴はシナッドを好むのなら、カラシュターの為にシナッドの特徴を使い名前を呼び変えるだけですみます。シナッドの3つからなる精神の信託の様相は、クォーリの精神の影響だとしてください。もうひとつの選択肢として、シナッドとカラシュターは同じ起源を持つ亜種であるというものです。クォーリの精神の知られざるクラスによって精神を捕縛されたシナッドは、その宿主と異なる関係を作り上げたのです。これらの両方がシナッドがアダーを故国としており、ドリーミング・ダークとの戦いを続けていることを含めて、カラシュターについて纏められた背景を利用できるという利点があります。

完全に違う方法として、シナッドを人工的な種族にすることです。ヴァダリス氏族はメイジブレッド・アニマルでよく知られています。長く伝わる噂話として、ヴァダリスの魔法飼育者が人間を対象に実験したと言われています。シナッドは自らのカラシュターを作ろうと試したヴァダリス氏族の研究成果なのです。この方法を選ぶDMは、シナッドが世界中に存在するのか、彼らは創造者に忠実なのかを決めなければいけません。ヴァダリス氏族の中に隠されたシナッドの増殖する部隊があるのでしょうか。あるいは繁殖プログラムの全ての証拠を消そうと企む氏族から、ほんの一握りのシナッドが逃げ出し、逃亡者となっているのでしょうか。

いずれの場合でも、Complete Psionic (未訳) で描かれた**宿主特技**は、インスパイアドとカラシュターの両方に適しています。しかし、インスパイアドの場合は、クォーリの精神が離れている間の**空の肉体**では、これらの特技を利用することができません。

新しいクラス：アーデント (Ardent)、ディバイン・マインド (Divine Mind)、ルーク (Lurk)

Complete Psionic (未訳) では、3つの新しいサイオニック・クラスを提供します。全ての種族と文化のキャラクターでもこれらの道を進むことができますが、各クラスをエベロンの特定の状況に合わせるできます。

カラシュターが初めてエベロンに訪れた時、カラシュターはサイオニックの技の膨大な知識を持ち込んできており、今日まで多くの人間が精神の力について学んできました。アーデントの道は、アダーの長い歴史を持っており、光の道から離れ自立しています。カラシュターとインスパイアドの両方がアーデントになるかもしれませんが、アーデントの哲学の最も優秀な学徒は人間です。もしDMがRiedran サローナ以前の6つの隠された家の歴史を追うことを決めたなら、アーデントはこの隠されたサイオニックの文化の中で頑丈な場所を持っていることでしょう。

多くの役割がエベロンのディバイン・マインドに待ち受けています。

Complete Psionic (未訳) は、エベロンの主要な宗教の全てについての権威の一覧を与えます。ディバイン・マインドは5カ国の教会で見られることは稀ですが、信仰は常に潜在的な才能を齎すことができます。地下竜教団は多くのディバイン・マインドを持ち、狂気の本質を持つ恐ろしい武装した戦士達を作り出しましたが、ディバイン・マインドのほとんどはサローナ出身です。光の道の司祭の間では、ディバイン・マインドはクレリックやアデプトよりも一般的なものです。コインの裏側にドリーミング・ダークそのものを信仰するインスパイアドがおり、これは悪、秩序、光と闇、**腐敗**と狂気を与えます。腐敗と狂気はドリーミング・ダークの中で捕えられた恐怖を表わし、そのパワールの**顕現**は悪夢を伴って現れるのです。



ルークは内密と欺瞞の才能を増強するサイオニック・パワーを使う悪党です。ドリーミング・ダークがルークの一般的な源であり、**il-Lashtavarの終り**に仕える為、コーヴェアで実際のインスパイアドと人間が訓練されます。しかし、ルークにはもうひとつの強い伝統があります。ドッペルゲンガーは生来的にテレパシーを持ち、Cabinet of Facesと呼ばれる秘密結社は、ルークの技とドッペルゲンガーとチェンジリングの両方に仕込みます。ドリーミング・ダークのルークはしばしば戦闘に特化したパワーを学び、暗殺者として使えます。Cabinet of Facesの伝統は、内密と回避を重視し、殺人者とは違いスパイとして使えることに焦点を置いています。

僅かなカラシューターがルークの道を辿りますが、多くはサイオンやディバイン・マインドの瞑想の道を進みます。Tanataiの刃として知られるカラシューターのルーク・ソウルナイフの過激派についての噂によれば、組織は広がっており、このグループのメンバーがリードラの中心部のインスパイアドの深部に攻撃を企てたとされています。もしこのグループが実在するなら、十分なほど影に潜んでいます。アダーの長老は、多くのリードラ人と空の肉体はドリーミング・ダークの罪なき犠牲者だと言います。それで、彼らは刃を使った行動の多くを認めていません。

上級クラス

Complete Psionic (未訳) は8つの上級クラスを与えます。ここにこれら8つで使えるフックがあります。

アナーキック・イニシエイト (Anarchic Initiate) 多くの者はダル・クォールとソリアットからサイオニック・パワーが流れ込んでくると信じていますが、アナーキック・イニシエイトは揺れる混沌、キスーリの次元界から野性的なエネルギーを引き出しています。忘却界 (Linbo) と書かれた全ての効果をキスーリに置き換えます。チェンジリングはしばしばこの道にひかれ、アナーキック・イニシエイトはCabinet of Facesと共に活動しますが、多くのイニシエイトはひとつの組織と長いこと手を組むにはあまりに混沌としており、トラベラーと同列に思われています。

エボン・セイント (Ebon Saint) Cabinet of Facesはコーヴェアに人間が来る前に、トラベラーがドッペルゲンガーにエボン・セイントの技を教えたと言っています。エボン・セイントは種族を問わず、ドッペルゲンガーの間で広く尊敬されています。Cabinet of Facesの意図は謎のままです。時折、トラベラーのセイントが礼拝を執り行いますが、しばしば彼は単にひとつの重要な情報を与え、何の説明もなく消え去ります。勿論、誰もがトラベラーの贈り物には気をつけるべきです。エボン・セイントの情報は思いがけない結果を持っているのかもしれないのです。

エボン・セイントを目指す冒険者はまず最初にインストラクターを見つけ出さなければならず、これ自体が困難な挑戦となります。ドッペルゲンガーのセイントは他の一般的な種族よりもチェンジリングをメンバーにする可能性が高いものの、Cabinet of Facesで予測できることは、それを予測することができないということなのです。

DMの裁量で、(ドッペルゲンガー、チェンジリング、ラクシャサのような) いつでも変身能力を持つキャラクターが姿盗み能力 (Steal from ability) を使う場合、彼は〈変装〉判定に+5洞察ボーナスを得ます。

エクトピック・アデプト (Ectopic Adept) クォーリは夢の創作者であり、エクトピック・アデプトの技能は**致命的な現実**の中に夢を作り出します。長きに渡り、リードラ人の敵に数で劣る、アダーのカラシューターの為に、変化の技



は国の防衛に必須の道具です。アダー人とインスパイアドの両方は、エクトピック・アデプトの部隊を持っています。エベロンでの最も素晴らしい学校は、**Tanalashの柱**として知られており、Malshashar の Adaran 要塞にあります。

フレイヤースポーン・サイオニクス (Flayerspawn Psychics) 上述のイリシッドの遺産の節で説明したオプションは、全てフレイヤースポーン・サイオニクスに適用することができます。

イルミネイト・ソウル (Illumine Souls) 不死宮廷とヴォルの血脈の間の戦争の物語には、イリアンの清浄なる光を帯び、サンライト・ブレードで敵を一撃した3人のチャンピオンについて述べられています。エアリアルでは、他のサイオニック・クラスは稀で、デスガードはイリア・タイレンやウォーリア・オブ・ライトとして知られるソウルナイフのエリート部隊を維持しています。メンバーの僅かな者は、これらイルミネイト・ライトは、最も恐ろしく危険なことの為に予備として維持されています。不死宮廷に忠誠を誓うエルフやハーフ・エルフはこの騎士団に入ろうと努力することができます。現在まで、他の全ての種族のメンバーがイリア・タイレンに入ることが出来ていませんが、自らの純粋さを証明できる英雄がデスガードの信頼を勝ち取るかもしれません。

ソウルボウ (Soulbow) ソウルボウの伝統はサローナのドロマイトにその起源を持ち、リードラ人はしばしば2国間の継続的な戦争でドロマイトの精神弓兵と戦いました。そのテクニックはインスパイアドとアダーの人々の両方に取り入れられ、Reclaimerはリードラの外延部に簡単に見つけ出すことができます。

ストーム・ディシプル (Storm Disciple) アダーは奇妙な土地で、しばしば害意から王国を守っているように思える猛烈な嵐が吹き荒れます。伝説では、Korrandarの頂で思案を巡らせているブルー・ドラゴンの一族である、嵐の守護者によるものと伝えていますが、ストーム・ディシプルはカラシュターが訪れる遥か前に建立された修道会で、彼らは自らが真のアダーの守護者だと考えています。彼らはリードラ人の側に敵対して戦っている時、ストーム・ディシプルとカラシュターの間に緊張がありました。ディシプルはカラシュターが踏み込んできたからこそ、アダーの現在の困難があると思っており、幾人かはアダーの避難所は決してもうひとつの世界の精神の為ではないと言い張っています。

アダーのディシプルの他に、リランダー氏族のエンクレーブが嵐の力を操る方法を探究しているという噂があります。これは天賦の才でしょうか、それともこの知識はドリーミング・ダークのエージェントからの申し出で、氏族の若い後継者を墮落させる為にルークがクォーリの概要をばら撒いたのでしょうか。

ザース・セノビティ (Zerth Cenobites) エベロンのZerthinの一般的な開拓者の多くは、カイバーのドルガントのモンクです。盲目ではあるものの、これらドルガントの神秘主義者は敵を驚愕させるべく数秒を飛び越えることができます。僅かな者はこのテクニックはデルキールによって破壊された別の世界から盗まれたものだと言います。無名のドルガントの伝説では、最初のZerthマスターが死から逃れるべく前方に飛んだと言われており、ギスゼライの軍隊は粉碎された世界の復讐をする為に、いかなる場合でも出現することができるのだと伝えられています。

著者について

キース・ベイカーは小学校のときからDungeons & Dragonsの熱心なファンでした。彼の生活は2002年に彼が Wizards of the Coast Fantasy Setting Searchにエベロンの世界を提出したときに劇的に変化しました。Wizards of the Coast, Incの為にエベロン・ワールドガイドと最終戦争の影の作成したことに加え、彼はAtlas Games、Goodman Games、Green Roninの為に資料を作り上げました。